

「先輩移住者からのメッセージ」の募集について

1 要旨・目的

移住先の選択肢としての広島県の認知や、広島移住に対する興味・関心の拡大を図るため、本県に移住された方から、自身の体験を踏まえたメッセージを募集し、広く発信する。

2 現状・背景

- 県では、移住専用サイト「HIROBIRO.」、移住フェア・セミナー、東京相談窓口等により、移住先としての本県の魅力を発信し、移住世帯数の向上に一定の成果をあげている。
- 本県への移住を更に増加させるため、先輩移住者の体験談などを通じた本県の魅力を幅広く伝え、移住検討の熟度を高めさせる情報発信を行う。

3 概要

(1) 実施主体

広島県（地域力創造課）

(2) 実施期間（日時）

ア 募集期間：令和6年10月下旬～11月下旬

イ 結果発表：令和7年1月上旬頃（ホームページ上で公表・発信）

(3) 場所

—

(4) 実施内容

読者の共感を呼び、移住に向けた行動や移住者を受け入れる意識の醸成を促進できるよう、次の内容を含むメッセージを募集する。

応募作品は、審査員によって審査し、広島県を移住先として考えるきっかけとなるような作品については、ホームページ「HIROBIRO.」に掲載する。

ア メッセージの内容

- (ア) 移住に伴って感じている広島らしいライフスタイルやワークスタイルの魅力や、移住によって新たに気付いたこと
- (イ) 移住に向けた行動の後押しや移住検討にあたっての不安・課題の解決等につながる体験談
- (ウ) 様々な地域や年齢層の移住者の、「移住してよかった」と感じた日常的で身近なエピソードなど

イ 審査員

所属・職	氏名
認定 NPO 法人 ふるさと回帰支援センター 理事長	高橋 公
パカノラ編集処 代表（月刊ソトコト 元副編集長）	小西 威史
福山市まちづくりサポートセンター長（地域コーディネーター、移住者）	中尾 圭
株式会社アドプレックス 企画編集長（TJ Hiroshima 元編集長）	山根 尚子

4 その他

令和3年度実施時ホームページ

<https://www.hiroshima-hirobiro.jp/ijyukikaku/story/>

（一部抜粋）

ひろしま移住ストーリー2021

先輩移住者からのメッセージ

[TOP](#)
[受賞作品](#)
[ひろしま移住ストーリーについて](#)
[おすすめ記事](#)

ペンネーム カワバタ さん

意味や理由よりも大事なもの

2021年夏に東京から広島に移住したCGデザイナーのカワバタです。以前は東京やカナダのゲーム会社で3Dキャラクターを作るお仕事をしていました。出身は大阪でその後仕事で横浜、東京と主に都市部を転々とし、数年前にカナダのトロントにも2年ほど住んでいました。

30代前半 東京都から移住 フリーランス

[記事を読む](#)

審査員コメント

高橋 公 さん

コロナ禍を期に、リモートワークという新しいワークスタイルが始まり、時間ができて「人生において何が重要か」が明確になったカワバタさん。それは、家族との時間であり、快適な住環境であり、リフレッシュできる環境が近くにあることだ、と気づいたとのこと。これを実現するために、直感を信じて広島へ移住したCGデザイナー。移住を「何かを実現するための手段」ではなく、「この街の人当たりが好き」のような、感覚的な基準で移住先を選んだことがモチベーションを高めたと話しています。さらに、土地が人格形成に与える影響も大きいとも言っておられ、こうしたことから、広島を選ばれたようです。広島移住の人气が納得できる一文でした。